

小堅ランドへの担い手集め |チーム

C1211160佐藤優一樹

C1211668富樫和成

C1211421高田海斗

目次

- ▶ ビジョン
- ▶ ゴール
- ▶ 課題
- ▶ 解決策

- 効果
- まとめ

ビジョン

▶ 小堅コミセンが毎週開けることを目指す

→ 毎週子供たちが楽しめる場所にする

▶ お年寄りの方と子供たちが触れ合う環境をつくる

→ お年寄りの方の交流の場所にする

ゴール

- ▶ 従事者の確保を継続的に行えるようにする。
- ▶ お年寄りの方の触れ合いの場を作り、活気ある街にしたい。
- ▶ 高齢者の方を多く誘致し、サポーターとして参加していくことで小堅ランドを継続的に開催できるようにする。

現状の課題について

- ▶ 最低サポーター **12名** を確保できないと、小堅ランドを開くことが出来ない。
- ▶ 小堅ランドの従事者や移住者だけでは、毎週開くことが出来ない。

現地を訪問して

施設設備が充実しており、
企業との取り組みを実施・試行し
ている。

問題点

鶴岡市・酒田市からの交通アクセ
スが少ない。



小堅地域の特徴

- ▶ お年寄りの人数が多い。
- ▶ 沿岸が近い。
- ▶ 交通機関が少ない。



どのようにして
担い手を集めるか

解決策

- ▶ お年寄りの方を集め、サポーターとする
- ▶ お年寄りの方々には**菓子**や**飲み物**を提供
- ▶ 子どもたちとの触れ合える場所にする。
- ▶ お年寄りの方を集めて子供の見守りをしてもらい従事者サポーターの**負担**を減らす。

集客方法

- ▶ 回覧板で広告を出し、高齢者の**興味**を引く
- ▶ サポーターの補助で来てくれる人は**無料**で入場できるキャンペーンを開催する。
- ▶ お茶やお菓子を提供する。

場所の説明

高齢者がまったりスペースや図書室等に
集まり高齢者同士で団欒できる環境づくり
を行い、高齢者の**固定客**を増やす。



名称「まったりスペース」

場所の説明



和室



図書室

どのような**効果**があるか

効果

- ▶ 小堅コミセンが継続的に開ける
- ▶ その間に若者の集客も進ませることが出来る。
- ▶ お年寄りには子供と見守りを通じて触れ合えることで、精神的な充実につながる。
- ▶ 子供は様々な世代と交流できるので、知見が深められる。また、良好な関係性を築ければ、地域への愛着が高まる可能性がある。

ご清聴ありがとうございました。